

# 市立甲府病院 地域医療連携だより

基本理念「いのちに光を、心にやすらぎを」

いのちの大切さを重んじ、患者さんとの相互信頼の上に立った医療をめざします。



地域がん診療連携拠点病院

No.5

平成24年6月発行

市立甲府病院

地域医療連携室

## ～ 院長あいさつ ～

深緑の候、各医療機関の皆様方には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より地域医療における当院の役割に対し、ご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。昨年はRI問題において患者様、そのご家族、関係医療機関等に対しまして、多大なご迷惑をお掛けいたしました。この問題につきましては引き続き健康診断、心の健康相談、放射線医療専門家による相談を実施し、真摯に取り組んで参りたいと考えておりますので、関係医療機関の皆様方にはご理解・ご協力をお願いいたします。

今年度は地域医療における当院の役割を果たすため、救急医療、周産期医療、小児医療体制の充実に取り組みながら、地域がん診療連携拠点病院として更なるがん医療の充実を図るほか、引き続き地域医療機関との連携を積極的に関わりたいと考えております。

これからも各医師会との交流や地域連携勉強会等を通じて地域の先生方との「顔の見える連携」に努めながら、地域医療の向上に取り組んで参りますので、どうぞよろしくご願ひ申し上げます。



院長 小澤 克良

## ■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■ <地域医療連携室よりお知らせ> ■■■■■■■■■■■■■■■■■■■

紹介患者様に対して優先的に診察を行うためにご予約をお取りしておりますので、FAX予約をご利用ください。

### <診療予約の方法>

- ①「診療予約申込書」へ所定事項を記入のうえ、FAXにて送信してください。
- ②予約日時が決まり次第、診療予約票をFAXにて返信します。(おおむね15分程度です)

※「診療予約申込書」が少なくなりましたら、お気軽にご連絡ください。

(すぐにお届けいたします。)

また、当院のホームページ (<http://www.city-kofu-hp.jp>) がリニューアルされ、様々な情報を掲載しておりますのでご高覧いただければ幸いです。

お問合せ

市立甲府病院 地域医療連携室 TEL : 055-244-1111 (内線) 2211

FAX : 055-220-2660 担当 : 千野、小池まで

## 当院の周産期医療について

当院では、平成24年1月に病棟の再編成を行いました。これに伴い3階西病棟は産科病棟及びNICUの単科病棟になり、大幅に病床数が増えました。また、同じく平成24年1月から常勤医師も一人増え現在、常勤医師が男性3名、女性3名の計6名（全て産婦人科専門医取得）となっています。

また、助産師も新卒者の採用により、更に増員できました。今までも当科は毎年800件以上の分娩を取り扱って参りましたが、このように施設面でもマンパワーの面でも高度な周産期医療を取り扱う環境が整いました。昨年は、分娩予定者が多い月はやむなく分娩を制限せざるをえない事態となり皆様に大変ご迷惑をお掛けいたしました。今後はローリスク妊娠につきましてもほぼ全例のご紹介をお引き受けできることと思います。

また、良性腫瘍や骨盤内感染症その他の婦人科症例についても、今まで以上のご紹介がいただければ幸いです。



## 当院の診療科紹介 ～消化器内科～

前回「地域医療連携だより（平成23年12月発行）」で消化器内科診療の再開をご報告しましたが、今回は、特色や専門治療、これまでの診療実績についてご説明をいたします。

### 【特色】

消化器内科は、山梨大学消化器内科と連携して、次のような特色と役割を担います。

- ・内視鏡、腹部超音波、CT等、ほとんどの検査が、1週間以内に実施可能です。
- ・病院全体の協力体制により、入院待ち時間はほとんどありません。
- ・外科との連携により、予定・緊急手術が円滑に行えます。
- ・地域がん診療連携拠点病院として、通院治療センター、放射線治療の設備を持ち、放射線治療科と連携し、食道癌、胆道癌等の放射線治療が速やかに開始できています。現在までの入院疾患は、肝臓癌（68例）、膵臓・胆嚢・胆管癌（45例）、胃癌（36例）、大腸癌（22例）と「癌診療」が45%を占めています。
- ・救急対応として、消化管出血や閉塞性黄疸に対する内視鏡処置などを行っています。

### 【専門的な検査・治療】

ラジオ波焼灼療法、化学療法、インターフェロン治療、抗体療法、顆粒球除去療法、内視鏡的止血術、食道静脈瘤結紮術・硬化療法、内視鏡的切開剥離術・粘膜切除術、胆膵内視鏡、乳頭切開・バルーン拡張術、胆道・膵管ステント、特殊光による表在癌の診断など。

### 【診療統計（2012年2月）】

- ・外来数：511人（1日平均：24.3人）紹介率：88.30%、逆紹介率：23.40%
- ・入院数：1147人（1日平均：39.6人）平均在院日数：13.8日（3か月）

※再開しました市立甲府病院消化器内科に、引き続きご支援をお願い申し上げます。



部長 大塚博之

## 当院のがん治療 シリーズ (第1回)

当院は地域がん診療連携拠点病院としてがん治療の充実に取り組んでいます。そこで今回は、今年1月から開始している「緩和ケア外来」についてご紹介いたします。

【担当医師 小林 薫(日本緩和医療学会暫定指導医、サイコオンコロジー学会登録精神腫瘍医、日本精神神経学会精神科専門医)】

平成24年度の診療報酬改正が実施されました。がん診療における緩和ケアのさらなる充実や、病診連携による在宅医療に対する重点配分が盛り込まれています。当院においても、平成24年より緩和ケアの充実を図るため、入院患者を対象とした緩和ケアチームの人員補強と外来患者を対象にした専門外来である緩和ケア内科が設置されました。今回は、緩和ケア関連の当院の体制についてお知らせいたします。

まず、緩和ケア内科外来に関してですが、厚労省の規定により患者さんの受診経路が2つに制限されます。一つは、入院中緩和ケアチームのサポートを受けた患者さんが退院後の外来にてケアを継続する場合です。そしてもう一つが、当院とがん診療について連携している医療機関から紹介依頼がある場合です。当然診療所やがん診療連携拠点病院以外の病院からの紹介も含まれます。

「緩和ケア」とは、命にかかる病気によっておこる様々な問題に直面している患者とその家族に対して、痛みなどのからだの問題、心や社会的問題、スピリチュアルな問題等をなるべく早い時期に発見し治療・処置を行うことによって苦しみを予防したり和らげ、生活や人生の質を少しでもよくするアプローチである、と定義されており、決して終末期医療と同じではありません。たとえば患者さん自身だけでなく、ご家族やご遺族についても依頼があれば対応いたします。相談の内容も痛み、かゆみなどの身体症状の緩和に関するだけでなく、不眠・不安・気持ちのつらさなどの精神的な問題や「これまでの人生にはどんな意味があったのか」、「これからの時間を何を目標に過ごしたらよいか」などの人生の課題に対するケアも診療内容に含まれます。(担当医は精神腫瘍医です。)

当院の緩和ケア室では、他医療機関からの相談業務も行っております。様々な状況で、がん患者の診察を行っている場合にお困りのことがあれば、遠慮なくご相談ください。また、ご依頼を検討されている場合など診療医が他院他科の受診を勧める際には多くの場合見捨てられ不安反応が生じますので、紹介の手順などについても相談いただければ対応いたします。その際は、まず下記へ連絡いただけるようお願いいたします。



科長 小林 薫

【連絡先：市立甲府病院 総合相談室（医療福祉係）

TEL055-244-1111(代表) 内線1182】

## 紹介患者ランキング

2011年4月～2012年3月

昨年度当院へご紹介いただいた患者様の集計を取りまとめた結果は次のとおりです。これからも地域医療連携に対しまして、ご理解・ご協力のほどをよろしくお願いいたします。

病 院		診療所・医 院		歯 科 医 院	
山梨大学医学部附属病院	284	古守医院	178	ふかさわ矯正歯科クリニック	130
山梨厚生病院	156	今井循環器呼吸器科	164	中央歯科クリニック	39
笛吹中央病院	113	わかみや内科クリニック	160	くまざわ歯科医院	31
山梨県立中央病院	106	黒沢内科	135	本田歯科医院	27
甲府共立病院	97	境川診療所	130	城東歯科クリニック	21
甲府城南病院	88	石和南整形外科クリニック	130	miho歯科矯正クリニック	20
甲府脳神経外科病院	87	ながまつ医院	125	ふじたに歯科医院	17
日下部記念病院	67	うえむらクリニック	121	三木矯正歯科	14
社会保険山梨病院	63	杉田医院	116	八二一歯科	16
石和共立病院	57	木之瀬医院	103	七沢歯科医院	12